

# **DXスマートボード**

## **取扱説明書**

# 序文

## 一般

本書は、DXスマートボード（以下「スマートボード」といいます。）スマートボードを使用する前によくお読みになり、大切に保管してください。

## 安全上のご注意

マニュアルには、次のようなシグナルワードが登場することがある。

シグナル・ワード	意味
 WARNING	回避しなければ、軽傷または中程度の傷害を負う可能性のある、中程度または低い潜在的危険を示します。
 CAUTION	回避しなければ、物的損害、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果を招く可能性のある潜在的リスクを示します。
 NOTE	本文を補足する追加情報を提供。

## 改訂履歴

バージョン	改訂内容	リリース時間
V1.0.0.B	リリース	2025年8月

## 個人情報保護に関するお知らせ

デバイスの使用者またはデータ管理者として、他人の顔、指紋、ナンバープレート番号などの個人データを収集する可能性があります。以下を含むがこれに限定されない措置を実施することにより、他人の合法的な権利および利益を保護するために、現地のプライバシー保護法および規制を遵守する必要があります：監視区域の存在を人々に知らせ、必要な連絡先情報を提供するために、明確で目に見える身分証明書を提供すること。

## マニュアルについて

- マニュアルは参考用です。取扱説明書と製品には若干の違いがある場合があります。
- マニュアルに準拠していない方法で製品を操作したために発生した損失については、当社は責任を負いません。
- 本マニュアルは、関連する法域の最新法令に基づき更新されます。詳細については、紙の取扱説明書、

---

CD-ROM、QRコードの読み取り、または公式ウェブサイトをご覧ください。取扱説明書は参考資料です。電子版と紙版では若干の違いがある場合があります。

- すべてのデザインおよびソフトウェアは、事前の書面による通知なしに変更されることがあります。製品のアップデートにより、実際の製品とマニュアルに相違が生じる場合があります。最新のプログラムおよび補足文書については、カスタマーサービスにお問い合わせください。
- 機能、操作、および技術データの説明において、印刷の誤りや逸脱があるかもしれません。疑義や論争がある場合、当社は最終的な説明の権利を留保します。
- マニュアル（PDF形式）が開けない場合は、リーダーソフトウェアをアップグレードするか、他の主流リーダーソフトウェアをお試しください。
- マニュアルに記載されているすべての商標、登録商標、および会社名は、それぞれの所有者の財産です。
- ご使用中に問題が発生した場合は、当社ウェブサイトをご覧ください。販売元またはカスタマーサービスまでご連絡ください。
- 不確実性や論争がある場合、当社は最終的な説明の権利を留保します。

## 重要な保護措置と警告

スマートボードの正しい取り扱い、危険防止、物的損害の防止に関する内容を紹介します。スマートボードを使用する前によくお読みになり、ガイドラインに従ってご使用ください。

### 保管条件



- スマートボードの落下を防ぐのに十分な強度を持つ支持台に、スマートボードを安定して置く。
- スマートボードを日光の当たる場所や熱源の近くに置かないでください。
- スマートボードは、湿度（10%～90%（RH））および温度（-20 °C～+60 °C または-4 °F～+140 °F）の条件下で保管してください。

### 設置条件



- 黄色のラベルが貼られた壁掛けブラケットを使用してください。設置およびメンテナンスは、資格のある専門家が行ってください。
- 日光の当たる場所や熱源の近くにスマートボードを設置しないでください。
- スマートボードを湿気、ほこり、すすから遠ざけてください。
- スマートボードの落下を防ぐため、安定した場所に設置してください。
- スマートボードは風通しの良い場所に設置し、換気を妨げないようにしてください。
- 電源は、IEC 62368-1規格のES1の要件に適合し、PS2以下でなければなりません。電源要件はデバイスラベルに従うことにご注意ください。

### 動作要件



- スマートボード内部には高電圧がかかっています。危険にさらされる危険を避けるため、有資格の専門家がいない状態でスマートボードを分解しないでください。
- バッテリーを不適切に使用すると、火災や爆発の原因となることがあります。
- 不要なバッテリーは、同じタイプおよびモデルの新しいバッテリーと交換してください。
- 標準の電源アダプターを使用してください。標準以外の電源アダプターを使用したことによるいかなる問題についても、当社は責任を負いません。

- その地域で推奨され、定格電力仕様に適合した電源コードを使用してください。
- 電源にスマートボードを差し込む前に、すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。電源ソケットに過負荷をかけたり、電源コードを引っ張ったりしないでください。さもないと、それは火か感電を引き起こすかもしれません。



- また、スマートボードに液体が流れ込まないように、スマートボード上に液体が入ったものがないことを確認してください。
- 定格入出力範囲内でスマートボードを操作してください。
- 専門家の指示なしにスマートボードを分解しないでください。
- スマートボードは、湿度（10% ～ 90% (RH)）および温度（0 °C ～ 40 °C または 32 °F ～ 104 °F）が許容される条件下で使用してください。
- スマートボードはクラス I の電気製品です。スマートボードの電源が保護接地付きの電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- 器具用カブラーは切断器具です。使用する際は、使いやすい角度にしてください。

## メンテナンス要件



- メンテナンスの前にスマートボードの電源をオフにしてください。スマートボード をきれいにするとき液体の洗剤かスプレーの洗剤を使用しないで下さい。
- ディスプレイスクリーンの表面を拭くときは、清潔で柔らかい布を使用するか、専用のレンズ拭き布を使用してください。濡れた布でディスプレイ画面を拭かないでください。スクリーンを傷める恐れがあります。

## ENERGY STAR

### ● ENERGY STAR



ENERGY STARロゴが表示されている製品がエネルギー効率に関する該当する ENERGY STARガイドラインに従いENERGY STAR適合であることを確保するために、EPAの強化された 製品適合および認証手続に従っている。このロゴは、ユーザーによって明るさ設定または電源モード設定が変更された場合に、パネルのエネルギー消費量が ENERGY STAR 認証に必要な限度を超えて増加する可能性がある場合に表示される。

ENERGY STARプログラムとその環境利点に関する追加情報は、EPA ENERGY STARウェブサイト (<http://www.energystar.gov>) で入手できる、メーカー発表の最大輝度L\_Maxは400cd/m<sup>2</sup>です。



- 画面の明るさを変更すると、エネルギー消費に影響する場合があります。
- 無信号シャットダウンをオフにすると、Energy Starの要件を超える可能性があります。

**設定 > システム > 電源ステータス > ENERGY STARに進みます：**

エネルギースターオプションを設定するには、デフォルトでオンにすると、デバイスは4時間使用されないとスタンバイモードになります。

# 目次

序文 .....	II
重要な保護措置と警告 .....	IV
1 概要 .....	9
1.1 はじめに .....	9
1.2 梱包リスト .....	9
1.3 構造 .....	10
1.3.1 外観とポート .....	10
1.3.2 寸法 .....	13
1.3.2.1 寸法（65インチ） .....	13
1.3.2.2 寸法（86インチ） .....	14
2 初期設定 .....	15
2.1 スマートボードの電源を入れる .....	15
2.2 画面を消す .....	15
2.3 スマートボードの初期化 .....	15
2.4 ホーム画面 .....	17
3 基本操作 .....	18
3.1 クイック・オペレーション .....	18
3.1.1 ナビゲーションバーを表示する .....	18
3.1.2 アシストタッチを表示する .....	19
3.1.3 共通ツール .....	20
3.2 電子スマートボード .....	26
3.3 ファイル管理 .....	30
3.4 画面共有 .....	31
3.4.1 アプリで画面を共有する .....	31
3.4.2 ワイヤレスプレゼンテーションドングルによる画面共有 .....	35
3.5 システム設定 .....	37
3.5.1 ネットワーク接続の設定 .....	37

---

3.5.2 一般設定の構成.....	38
3.5.3 高度なパラメータの設定.....	39
3.5.4 システムパラメータの設定.....	41
3.6 Androidのドロップダウンバー.....	43
4 シャットダウン.....	45
5 システム・アップデート.....	46
5.1 オンライン・アップデート.....	46
5.2 USB経由でのアップデート.....	46
6 よくある質問.....	47
Appendix 1 タッチ操作.....	48
Appendix 2 安全保障へのコミットメントと提言.....	49

# 1 概要

## 1.1 はじめに

DXスマートボードは統合されたマルチメディア装置で、大きいHDスクリーン、コンピュータ、電子スマートボード、アンプ、および中央制御システムを統合します。

スマートボードは以下の機能と特徴をサポートしています：

- 4K HD LCDディスプレイ。
- AndroidとWindowsのシステムを切り替える（Windowsの場合は、コンピュータモジュールをインストールする必要があります）。
- 携帯電話やタブレットなどのデバイスをワンタップで投影。
- 電子スマートボード。
- マイクロソフト・オフィスやオーディオ・ビデオ・プレーヤーなどの各種ソフトウェア。
- ビデオ会議に対応。

## 1.2 梱包リスト

梱包箱に明らかな損傷がないか確認する。梱包を解き構成部品が梱包リストに従って揃っていること。

表 1-1 梱包リスト

名称	数量	名称	数量
DXスマートボード	1	電源コード	1
スタイラスペン	2	リモコン	1
ウォールマウントブラケット（スマートボードに装着済み）	1	壁掛け用ネジパック	1

## 1.3 構造

### 1.3.1 外観とポート

図1-1 外観

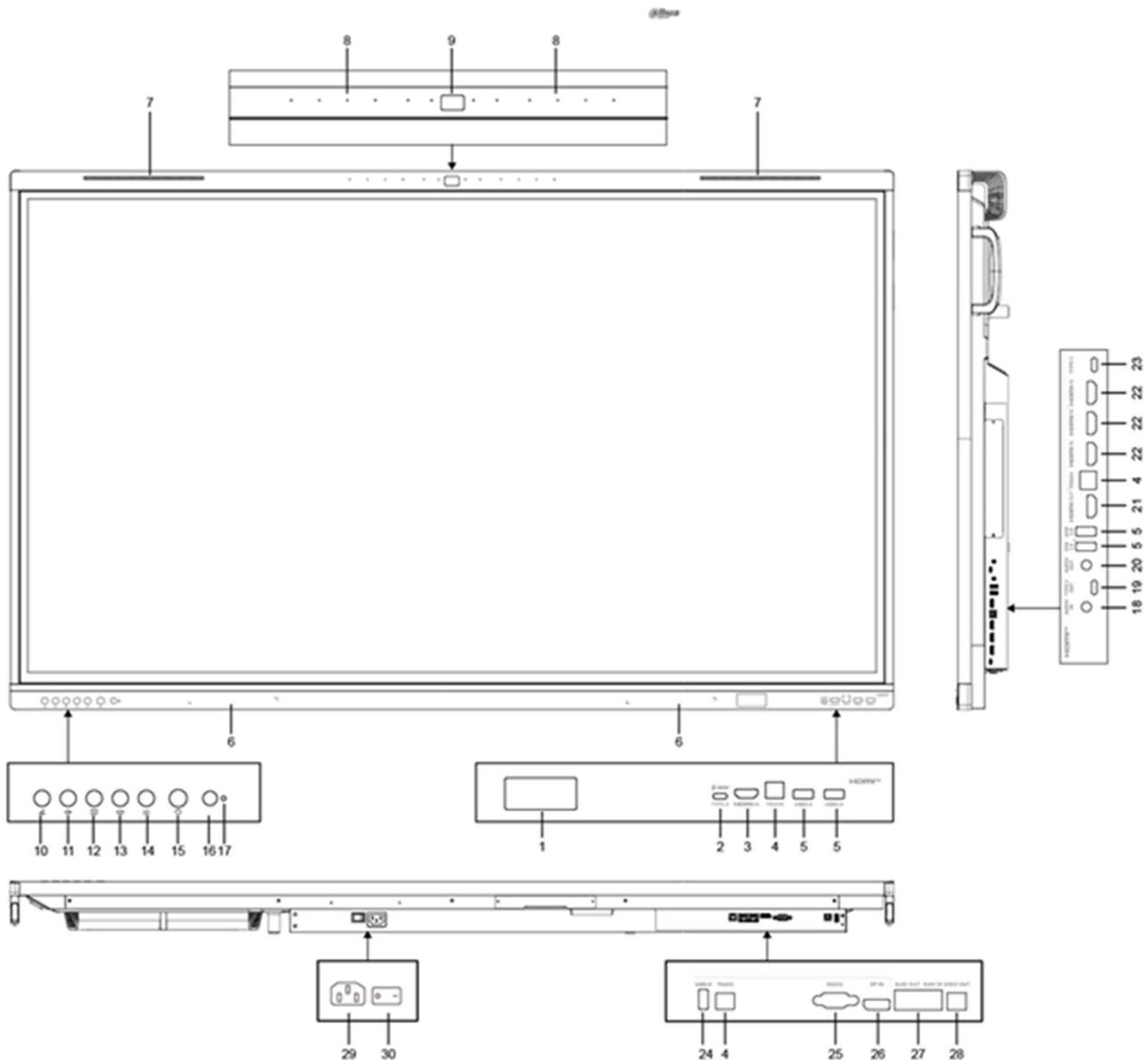


表 1-2 外観の説明

	アイテム	機能説明
1	エヌエフシー	NFC 読み取りエリア。
2	USB タイプ C	USB Type C : 充電、データ転送、オーディオ・ビデオ出カインターフェイスの拡張などをサポート。 注 : 本製品の USB Type-C ポートの最大定格電力は 20 V 5 A (OPS 接続時は 20 V 3.25A) です ;

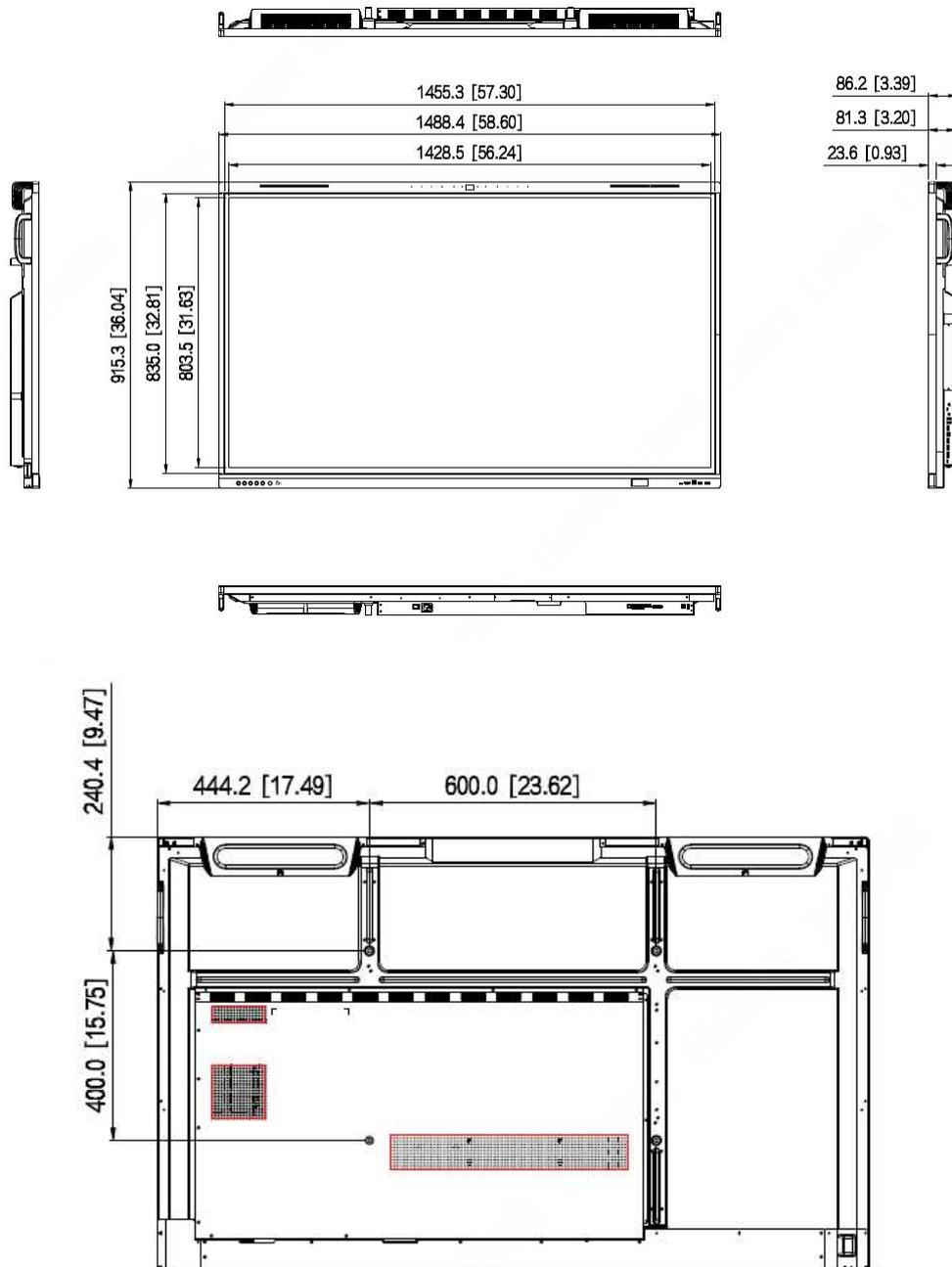
		電子機器の充電にこのポートを使用する場合、電子機器の充電電力がこのポートの定格電力を超えることはできません。電子機器の充電電力がこのポートの定格 充電電力を超える場合は、このポートを直接充電に使用しないでください。
3	HDMI IN	高解像度マルチメディアインターフェイス信号入力、HDMI 出力インターフェイスを持つデバイス（HDMI 出力を持つパーソナルコンピュータ、セットトップボックス、または他のビデオデバイス）に接続します。
4	タッチ	外部コンピューターへのタッチ信号出力。
5	USB 3.0	モバイルハードディスク、U ディスク、USB キーボード、マウス、USB ドライブなどの USB デバイスを接続します。
6	磁気ゾーン	吸着マグネットペンを置くエリア。
7	スピーカー	サウンド出力。
8	アレイマイク	マイクがオンの時に集音される。
9	HD カメラ	画像はカメラの電源が入っているときに収集される。
10		コメントモードに入る。
11		音量を調整する。
12		カーテンモードに入る。
13		信号ソースを選択します。
14		ナビゲーションバーを開いたり閉じたりする。
15		電源ボタン。画面をオンまたはオフにします。
16	リモコン信号受信機	リモコン信号を受信する。
17	光センサー	画面の明るさを自動的に調整します。
18	オーディオ入力	オーディオ出力機能を持つ機器に接続。
19	タイプ C アウト	データ伝送、拡張機能 オーディオ・ビデオ出力インターフェースなど
20	オーディオ出力	外部スピーカーへの音声出力。
21	HDMI OUT	HDMI 入力機能を持つ機器（モニター）に接続します。
22	HDMI IN	高解像度マルチメディアインターフェイス信号入力、HDMI 出力インターフェイスを持つデバイス（HDMI 出力を持つパーソナルコンピュータ、セットトップボックス、または他のビデオデバイス）に接続します。
23	タイプ C	充電、データ伝送、オーディオ・ビデオ出力インターフェース拡張などをサポート。 ご注意：本製品の USB Type-C ポートの最大定格電力は 5V 3A です。このポートを使用して電子機器を充電する場合、電子機器の充電電力はこのポートの定格電力を超えることはできません。電子機器の充電電力がこのポートの定格充電電力を超える場合は、このポートを直接充電に使用しないでください。
24	USB 2.0	モバイルハードディスク、U ディスク、USB キーボード、マウス、USB ドライブなどの USB デバイスを接続します。
25	RS232	機器間の相互データ転送に使用されるシリアル・インターフェース。

26	DP IN	Display Port 出力機能を持つ機器に接続。
27	RJ45 OUT RJ45 IN	イーサネット接続
28	SPDIF OUT	マルチチャンネルサウンドを光信号で伝送する。
29	AC IN	AC 電源入力、AC 電源を接続する。
30	AC スイッチ	AC 電源を開閉する。I "は電源オン、"O "は電源オフを意味する。

## 1.3.2 寸法

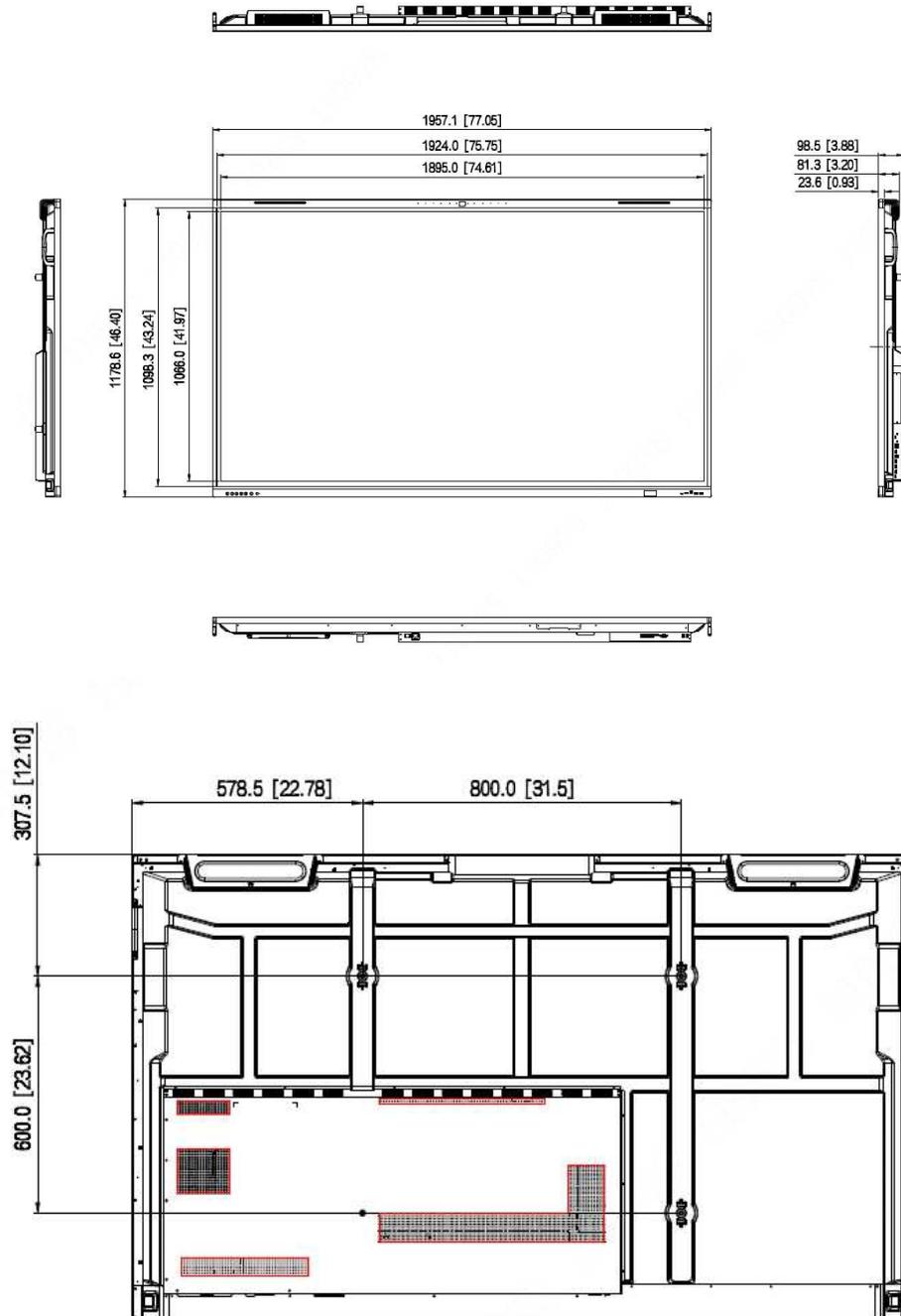
### 1.3.2.1 寸法 (65インチ)

図1-2 寸法 (mm [インチ])



## 1.3.2.2 寸法 (86インチ)

図1-4 寸法 (mm [インチ])



## 2 初期設定

### 2.1 スマートボードの電源を入れる

#### 前提条件

- スマートボードを起動する前に、入力電圧が電源要件に対して正しいかどうかを確認してください。
- スマートボード に接続される スマートボード および外部装置の安定した仕事を保障し、耐用年数を延長するためには、さざ波からのより少ない干渉の安定した電圧を提供する電源を使用するために国民の関連の標準を参照することを推奨します。

#### 手続き

ステップ1 電源コードを接続します。

ステップ2 電源コードの横にあるロッカースイッチのI側を押します。

ステップ3 フロントパネルの電源ボタンを押して、画面の電源を入れます。

起動後、システムはデフォルトでホーム画面を表示する。

### 2.2 画面を消す

画面がオンの状態で電源ボタンを1回押すと、画面がオフになります。

画面が 3 秒間消灯した後、次のいずれかの方法でスマートボードを起動できます：

- もう一度電源ボタンを押す。
- スクリーンをタッチする。



Windowsシステムでは、画面ロックのパスワードを設定している場合、スマートボードを起動するには正しいパスワードを入力する必要があります。

### 2.3 スマートボードの初期化

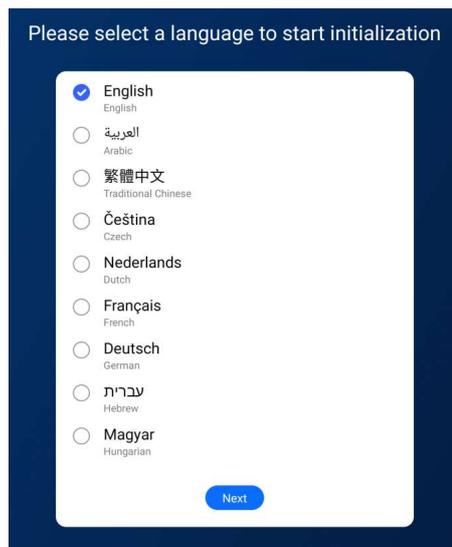
初めて使用する場合、またはシステムを工場出荷時の設定に戻した後は、スマートボードを初期化する必要があります。その後、デバイスの設定と操作を行うことができます。

#### 手続き

ステップ1 スマートボードの電源を入れます。

ステップ2 言語を選択し、**[開始]**をクリックします。

図2-1 言語の選択



ステップ3 有線接続またはWi-Fi接続でネットワークを設定する。

オフラインで設定する場合は、「日付とタイムゾーン」を選択し、「次へ」をクリックします。

ステップ4 アプリとデータのコピーを選択し、「コピーしない」または「次へ」をクリックします。

ステップ5 Googleアカウントでログインし、**[スキップ]**または**[次へ]**をクリックします。

ステップ6 プライバシーポリシーを読み、「同意する」をクリックします。

ステップ7 PINを設定し、**[スキップ]**または**[次へ]**をクリックします。

ステップ8 システムナビゲーションを設定し、**[次へ]** をクリックします。

ステップ9 ソフトウェア使用許諾契約書を読み、**[次へ]**をクリックします。

## 2.4 ホーム画面

図2-2 ホーム画面

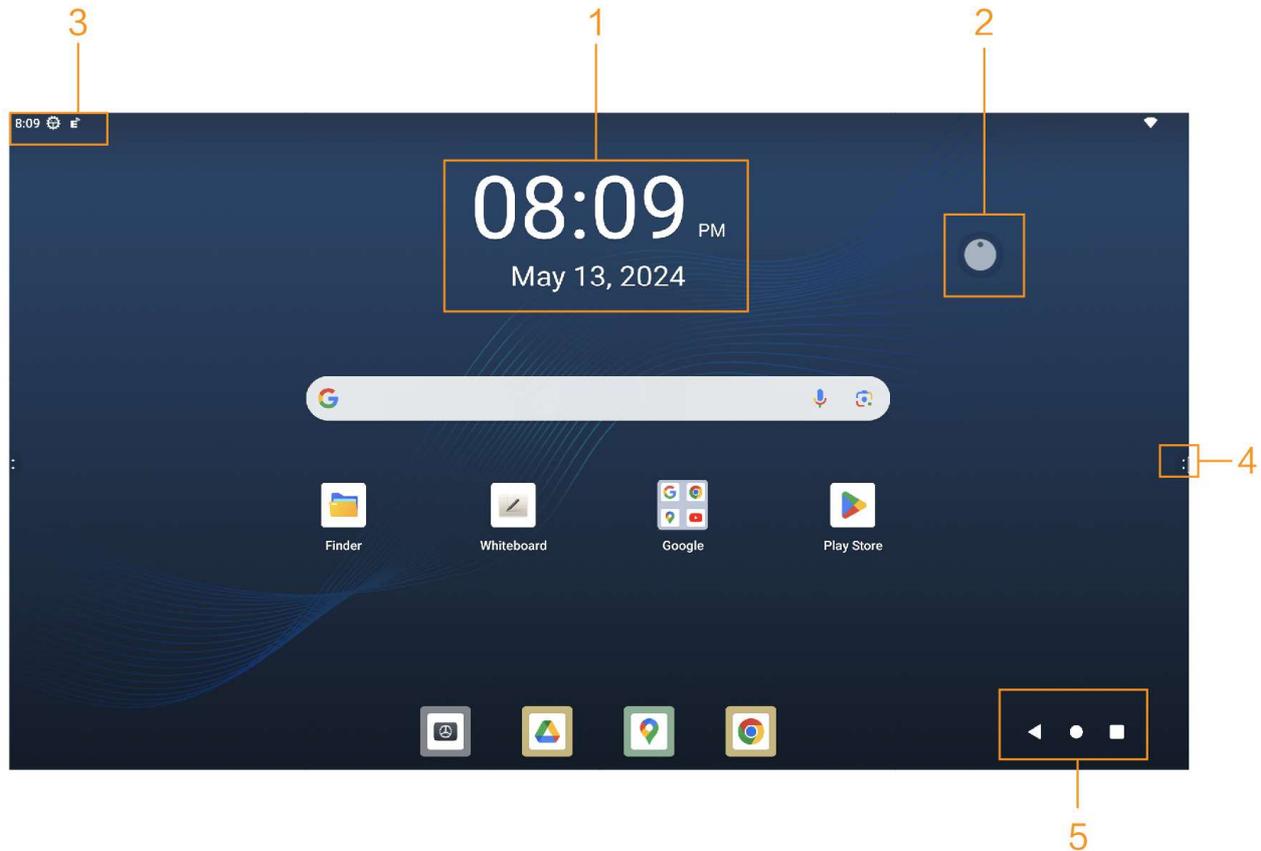


表 2-1 ホーム画面の説明

	説明
1	日付、時刻、曜日を表示。
2	アシストタッチ。アイコンをタップすると、電子スマートボード、注釈、ファイル管理などの機能をすばやく使用できます。詳しくは「3.1.2 アシストタッチを表示する」を参照してください。
3	デバイスステータスバー。さまざまなステータス情報が表示されます。各アイコンをタップして詳細を表示します。
4	 をタップすると、ナビゲーションバーが表示されます。詳しくは「3.1.1 ナビゲーションバーを表示する」をご覧ください。
5	Androidナビゲーションバー、戻る、ホーム、最近のタスクに対応。

## 3 基本操作

スマートボードは、コンピュータまたは電子スマートボードとして機能します。この章では、それらの機能の基本的な操作方法を紹介します。画面との対話にはスタイラスペンのご使用をお勧めします。タッチ操作の詳細については、「付録 1 タッチ操作」を参照してください。

### 3.1 クイック・オペレーション

ナビゲーションバーやアシストタッチを使って、基本的な機能を素早く使うことができます。

#### 3.1.1 ナビゲーションバーを表示する

ホーム画面の左右にある  をタップしてナビゲーションバーを表示します。

図3-1 ナビゲーション・バー



表3-1 ナビゲーションバーの説明

アイコン	説明
	ナビゲーションバーの表示・非表示
	前の画面に戻る。
	ホーム画面に戻る。
	アイコンをタップすると、注釈、画面共有、カメラなどの共通ツールが表示されます。詳細は、「3.1.3 共通ツール」を参照してください。
	バックグラウンドで実行中のアプリを表示します。バックグラウンドのアプリを1つずつ閉じることも、まとめて閉じることもできます。

アイコン	説明
	オンスクリーンディスプレイ(OSD)を上下に引き、スクリーンの3分の1または2分の1のリーチャビリティをサポートします。
	

### 3.1.2 アシストタッチを表示する

ホーム画面で  をタップし、コンパスメニューを表示します。詳しくは、「3.10.2 一般設定を行う」をご覧ください。

図3-2 アシスト・タッチ

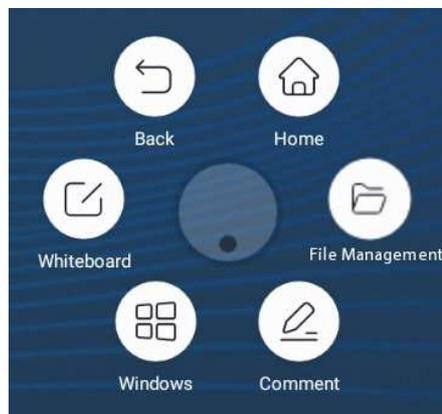


表3-2 アシストタッチの説明

アイコン	説明
	ホーム画面に戻る。
	前の画面に戻る。
	電子スマートボードの画面に移動します。詳しくは「3.2 電子スマートボード」をご覧ください。
	コンピュータモジュールを挿入したら、アイコンをタップしてWindowsシステムに切り替えます。

アイコン	説明
	<p>注釈モードをオンにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  をタップして、ペンの種類とブラシのサイズを選択します。</li> <li>●  をタップしてコンテンツを消去します。</li> <li>◇ 不要なコンテンツを消去するには、 をタップします。</li> <li>◇  をタップし、不要なコンテンツを丸で囲み、選択したコンテンツを消去します。</li> <li>◇  をタップすると、画面上のすべてのコンテンツが消去されます。</li> <li>● <b>保存</b>をタップし、注釈を保存するパスを選択します。</li> <li>● <b>終了</b>をタップして注釈画面を終了します。</li> </ul>
	<p>ファイルを管理する。</p>

### 3.1.3 共通ツール

#### 手続き

ステップ1 ホーム画面の左右にある をタップし、ナビゲーションバーを表示します。

ステップ2  をタップし、共通ツールを表示します。

図 3-3 共通ツール

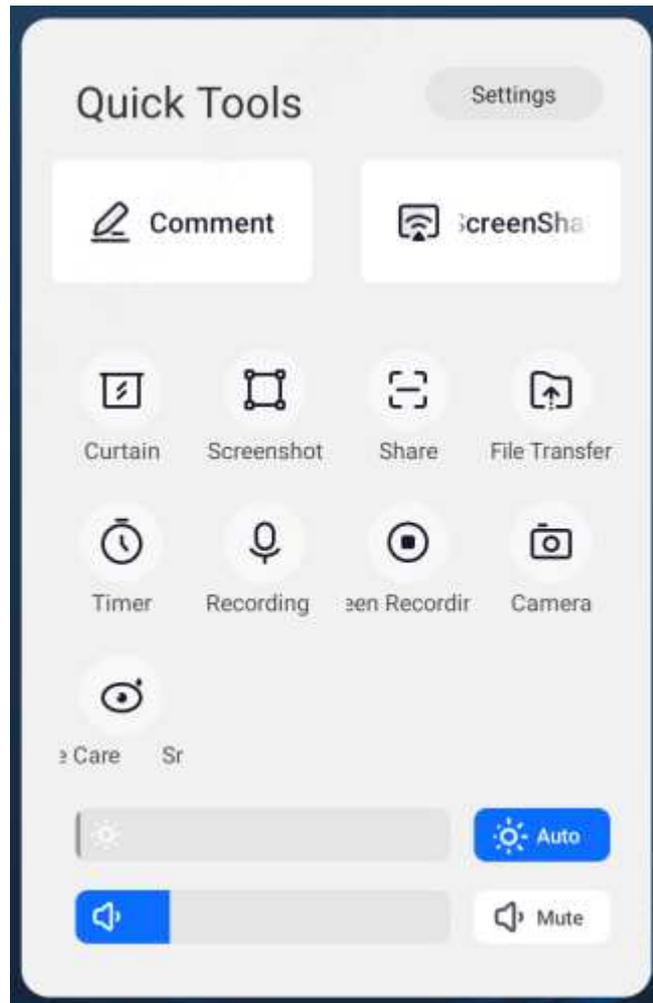


表3-3 共通ツールの説明

セクション	機能	説明
クイックツール	設定	設定画面に移動します。詳細については、"3.5 システム設定"を参照してください。

セクション	機能	説明
	コメント	<p>注釈モードをオンにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Fountain</b>をタップして、ペンの種類とブラシのサイズを選択します。</li> <li>● <b>消しゴム</b>をタップして内容を消去します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 不要なコンテンツを消去するには、 をタップします。</li> <li>◇  をタップし、不要なコンテンツを丸で囲み、選択したコンテンツを消去します。</li> <li>◇  をタップすると、画面上のすべてのコンテンツが消去されます。</li> </ul> </li> <li>● <b>保存</b>をタップし、注釈を保存するパスを選択します。</li> <li>● <b>終了</b>をタップして注釈画面を終了します。</li> </ul>
	ワイヤレス画面共有	<p>ワイヤレス画面共有機能を使用するには、アイコンをタップします。パソコンや電話からスマートボードにコンテンツを転送できます。</p>
	スクリーンショット	<p>アイコンをタップすると、デフォルトで中央の領域が選択されます。正方形の四隅をドラッグして、領域のサイズをカスタマイズできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  をタップすると、ワンタップでスクリーンショットをスマートボードにインポートできます。</li> <li>● 全画面をキャプチャするには、 をタップします。</li> <li>● スクリーンショットをキャンセルするには、 をタップします。</li> <li>●  をタップすると、年-月-日-時-分-秒.jpg という名前のスクリーンショットがスクリーンショットフォルダに保存されます。</li> </ul>

セクション	機能	説明
	シェア	<p>アイコンをタップし、共有したいファイルを選択します。異なる種類のファイルを選択することはできませんが、フォルダを選択することはできません。1ファイルのサイズは200MB以下にしてください。<b>OKをタップ</b>すると、2つ以上のファイルがZIPファイルに圧縮されて送信されます。QRコードが生成されたら、QRコードを読み取ってファイルをダウンロードするか、QRコードの下にある<b>「選択続行」</b>をタップしてファイル選択画面に戻り、さらにファイルを選択します。</p> <p>QRコードに対応。ホットスポットに接続後、スマホのカメラアプリやブラウザでコードをスキャン。暗号化が有効な場合は、コードをスキャンした後に認証パスワードを入力する必要があります。認証が成功するとダウンロード画面が表示されます。</p> <p></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ファイル共有にはデータ漏洩の危険も。QRコードは安全に保管しましょう。</li><li>● 選択したファイル名が同じ場合、QRコードは生成できません。</li></ul>

セクション	機能	説明
	ファイル転送	<p>1. アイコンをタップした後、<b>REGISTER</b>をタップしてクラウド管理プラットフォームに登録します。サーバーアドレスまたはドメイン名を入力し、<b>【登録】</b>をタップします。クラウド管理プラットフォームの登録を有効または無効にできます（機能を有効にすると、スマートボードがクラウド管理プラットフォームに登録されます）。</p> <p>2. クラウド管理プラットフォームに登録後、スマートボード上のファイルをクラウドプラットフォームにアップロードし、保存・管理することができます。様々な種類のファイルをアップロードできますが、フォルダをアップロードすることはできません。</p> <p>ファイルはzipファイルに圧縮されます。<b>アップロード</b>をタップすると、当日と前々日の会議リストが表示されます。デフォルトはアップロード時点の会議です。この時点に会議がない場合、デフォルトはその時点より前の最も近い会議です。</p>
	タイマー	<p>アイコンをタップすると、タイマー設定画面が表示されます。タイマーの開始・一時停止、タイマー情報の全画面表示設定、タイマーのリセット（リセットは一時停止中のみ可能で、初期状態の00:00:00にリセットされます）ができます。</p>
	オーディオ録音	<p>アイコンをタップして音声を録音します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  :  : 録音一時停止;  : 録音停止。録音されたファイルは.mp3形式で保存されます。</li> <li>●  : 関数を閉じる。</li> </ul> <p></p> <p>この機能は、マイクを搭載したデバイスでのみ利用可能です。</p>

セクション	機能	説明
	画面録画	<p>アイコンをタップして画面を録画します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  : 録画を停止します。解像度は1080Pです。</li> <li>●  : 音声の録音を開始します。</li> </ul> <p></p> <p>画面録画の前に、まず音声録音を有効にしてください。そうしないと、画面録画中に音声録音を有効にできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  : 関数を閉じる。</li> </ul>
	カメラ	<p>アイコンをタップして写真を撮る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内蔵カメラは、ミラーリング、ホワイトバランス、WDR、露出などの設定をサポートする。</li> <li>● オフ、3秒（デフォルト）、5秒、10秒のカウントダウン設定に対応。</li> <li>● <b>スマートボードをインポート</b>」をタップすると、スクリーンショットをワンタップでスマートボードにインポートできます。</li> <li>●  」をタップして、画像をローカルのデフォルトフォルダに保存します。画像はデフォルトでyear-month-day-hour-minutes-second.pngという名前になっています。</li> <li>● 持ち帰りスキャンに対応。</li> </ul>
	エコ	<p>この機能を有効にすると、バックライトは低い値に設定されます。バックライトの明るさは、手動または自動で調整できます。</p>
	スマート・アイケア	<p>アイケア機能を有効または無効にする。</p> <p>この機能を有効にすると、スマートボードはブルーライトの強度を下げ、画面をアイケアモードに変更します。</p>

セクション	機能	説明
	明るさ	スライダーをドラッグしてバックライトの明るさを調整します。 <b>AUTO</b> をタップすると、自動調整機能が有効になります。 スマートボードは、環境に応じて自動的に明るさを調整することができます。詳細については、"3.5.2 一般設定の構成 " を参照してください。
	ボリューム	スライダーをドラッグして音量を調整します。 <b>ミュート</b> を有効にするには <b>MUTE</b> をタップします。

## 3.2 電子スマートボード

ホーム画面で**スマートボード**をタップすると、スマートボードソフトウェアが開きます。画面に文字を書いたり、絵を描いたりすることができます。

図3-4 電子スマートボード

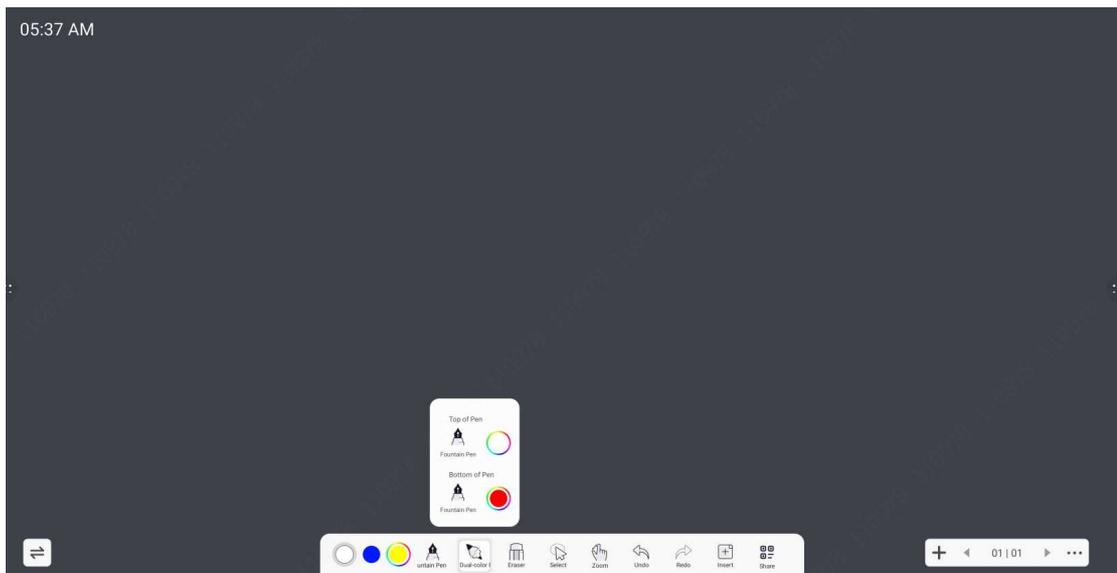


表 3-4 スマートボードアイコンの説明

アイコン	説明
	スマートボードツールバーの位置を調整します。
	ペンの色を選択またはカスタマイズします。
デュアルカラーペン	ペンの上部と下部の色を選択またはカスタマイズします。

アイコン	説明
	<p>ペンの種類とブラシのサイズを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  :油性ペン。デフォルトでは、ブラシの色は白で透明度は0です。</li> <li>●  :マークペン。デフォルトでは、ブラシの色は黄色で、透明度は40%です。</li> <li>●  :万年筆。デフォルトでは、ブラシの色は白で透明度は0です。</li> <li>●  :スマートテキスト。手書きの内容を認識し、油性ペンと同じ色と太さの標準フォントに変換します。</li> </ul> <p></p> <p>スマートテキストは、英語でのみ使用できます。他の言語で書いた場合、内容を認識して変換することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  :レーザーペン。書いた内容は軌跡とともに現れ、1秒で消える。色は緑、赤、ピンクがある。</li> </ul>
	<p>コンテンツを消去する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不要なコンテンツを消去するには、 をタップします。</li> <li>●  をタップし、不要なコンテンツを丸で囲み、選択したコンテンツを消去します。</li> <li>●  をタップすると、画面上のすべてのコンテンツが消去されます。</li> </ul> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●  グラフィックや表を直接消去することはできません。</li> <li>●  手のひらを画面に押し当て、文字やグラフィックの上で手を動かすと消すことができる。</li> </ul>
	<p>画面上のコンテンツを選択し、拡大、縮小、移動、回転を行う。</p>

アイコン	説明
	<p>ズームモードと併記モードを切り替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ズームモード：ワンポイント書き込みのみサポート。キャンバスの拡大・縮小ができます。</li> <li>● 共同筆記モード：10本のペンの同時書き込みに対応。キャンバスの拡大・縮小はできません。</li> </ul>
	<p>直前のアクションを取り消す。最大10回まで取り消すことができます。</p>
	<p>取り消したアクションをやり直します。やり直せるアクションは10個までです。</p>
	<p>アイコンをタップして、画像、グラフィック、表を挿入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画像：bmp、png、jpg、jpeg、gif形式の画像を挿入できます。合計10枚まで挿入できます。</li> <li>● グラフィック：挿入したいグラフィックの種類を選択します。</li> <li>● テーブルデフォルトのテーブルレイアウトは3×3で、最大12列12行をサポートします。</li> </ul>
	<p><b>スキャンして移動</b>：スマートボードファイルをダウンロードする</p>
	<p>スマートボードのページを追加します。最大50ページまで追加できます。</p>
	<p><b>01 01</b> をタップして、保存されたファイルリストをプレビューします。編集するファイルをタップします。複数のファイルを作成した場合、<b>◀</b> または <b>▶</b> をタップすると、前のファイルと次のファイルに切り替わります。切り替えページのサムネイルを閲覧できます。</p>

アイコン	説明
...	<p>アイコンをタップすると、以下の操作ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新しいスマートボードファイルを作成します。</b>新しいファイルを作成する前に内容を保存することを忘れないでください。</li> <li>● <b>開く</b>保存した書き込みファイルを開きます。開くことができるのはスマートボードファイル形式のみです。<b>開く</b>をタップすると、ファイル管理画面のスマートボードファイル欄にジャンプします。</li> <li>● <b>背景の変更</b>：ローカルの背景テンプレートまたはカスタムテンプレートを使用できます。</li> </ul> <p>カスタムテンプレートはbmp、png、jpg、jpeg形式の画像にのみ対応しています。画像サイズは5MBまでです。推奨画像比率は16:9です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>保存する</b>：ファイルを保存します。デフォルトのファイル名は年-月-日-時-分-秒です。ファイル名はカスタマイズできます。ファイル形式はwbh（ソースファイル形式）、pdf、pngがあります。デフォルトではソースファイル形式が使用されます。</li> <li>● <b>名前を付けて保存</b>新規ファイルとして保存します。デフォルトのファイル名は年-月-日-時-分-秒です。ファイル形式は、wbh（ソースファイル形式）、pdf、pngがあります。デフォルトではソースファイル形式が使用されます。</li> <li>● <b>スキャンして移動</b>：書き込んだスマートボードファイルをダウンロードする。</li> <li>● <b>終了します</b>：スマートボードアプリを終了します。</li> </ul> <p></p> <p>終了する前に変更を保存することを忘れないでください。</p>

## 3.3 ファイル管理

ローカルファイルとUSBドライブ上のファイルを管理します。

ホーム画面で **FileManager** をタップして、スマートボードのファイル、画像、ドキュメントなどを表示します。



- ファイルまたはフォルダをタップしてホールドし、ファイルまたはフォルダを選択します。
- ファイルやフォルダをダブルタップして開きます。

図3-5 ファイル管理

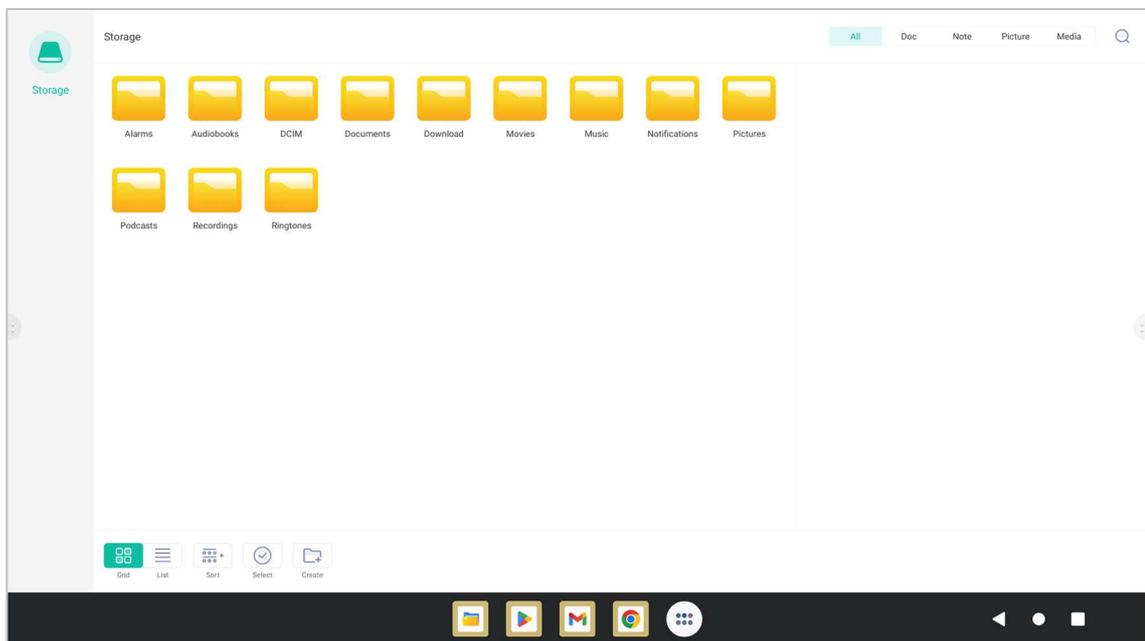


表 3-5 ファイル管理アイコン

アイコン	説明
<	前のページに戻る
Search	検索するファイル名を入力します。
/ Grid / List	サムネイルまたはリスト形式でファイルを表示します。
 Sort	ファイル名、サイズ、時間の昇順または降順でファイルを並べ替えます。
/ Select / SelectAll	複数のファイルまたはすべてのファイルを選択することができます。

アイコン	説明
	新しいフォルダを作成する。
	ファイルまたはフォルダを選択し、「コピー」または「切り取り」をタップし、「貼り付け」をタップしてファイルまたはフォルダを貼り付けます。
	
	
	ファイルやフォルダを削除する。
	ファイルとフォルダの名前を変更します。ファイル名の接尾辞は変更できません。

## 3.4 画面共有

スマホ、パソコン、タブレットでスマートボードを遠隔操作し、スマートボードの画面にコンテンツを映し出すことができる。

### 3.4.1 アプリで画面を共有する

スマートボードとスマホやタブレットなどのデバイス間で画面を共有した後、スマホや他のデバイスからスマートボードの画面にコンテンツを投影し、スマホや他のデバイスでスマートボードを操作することができます。

#### 前提条件

スマートボードとコンピュータが同じ LAN ネットワーク上にあり、スマートボードのホットスポットが有効になっている。詳細は、「3.10.1 ネットワーク接続の設定」を参照してください。

#### 手続き

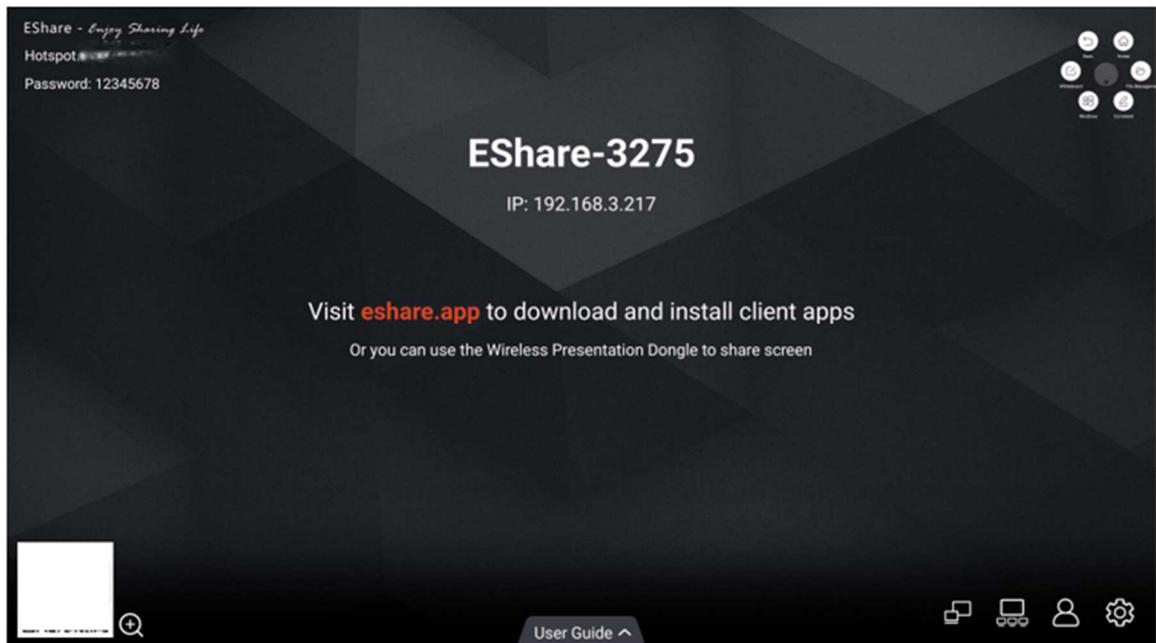
ステップ1 スマートボードの Android ホーム画面で**画面共有**をタップします。

ステップ2 スマホやタブレットで画面左下のQRコードを読み取り、スマホなどのOSに対応したEShareアプリをダウンロードしてインストールします。例えば、EShare for Android。



- また、携帯電話で `http://IP address:port` にアクセスしてアプリをダウンロードすることもできる。
- IPアドレスは、スマートボードが接続されているネットワークによって異なる場合があります。
-  をタップすると、QRコードが拡大表示されます。
-  をタップしてWebCastを有効にすると、EShareアプリを使わずにブラウザを使って画面を共有できます。

図 3-6 画面の共有



ステップ 3 EShareアプリを開き、スマートボードのデバイス名を選択してスマートボードとEShareを接続します。

接続が成功したら、携帯電話や他のデバイスでスマートボードを操作し、スマートボードの画面にコンテンツを投影することができます。

表 3-6 EShare アイコンの説明

アイコン	説明
	WebCastを有効にすると、EShareアプリの助けを借りずにブラウザを使って画面を共有できます。

アイコン	説明
	<p>グループ設定。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 重複表示。<ul style="list-style-type: none"><li>◇ <b>有効にする</b>：ディスプレイグループ内の他のすべてのデバイスに画面を複製します。</li><li>◇ <b>クライアント画面共有でのみ有効です</b>：クライアントを使用して携帯電話や他のデバイスの画面を共有する場合のみ、画面はグループ内の他のデバイスにミラーリングされます。</li><li>◇ <b>無効にする</b>：グループ内のデバイスへの画面の複製を停止します。</li></ul></li><li>● ディスプレイグループへの招待状。<ul style="list-style-type: none"><li>◇ <b>自動承認</b>：他のデバイスは、許可なく自分の画面をあなたの画面に複製することができます。</li><li>◇ <b>通知するディスプレイグループへの招待を受けると</b>、システムからプロンプトが表示されます。</li><li>◇ <b>無効にする</b>：表示グループへの参加を拒否する。</li></ul></li></ul>

アイコン	説明
	<p>司会者コントロールセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面やファイルを共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ <b>すべて許可されています</b>：画面を投影したり、携帯電話やその他のデバイスからスマートボードにファイルを送信したりすることは許可されています。</li> <li>◇ <b>承認が必要です</b>：画面を投影したり、携帯電話や他のデバイスからスマートボードにファイルを送信したりする際に、システムから承認が求められます。</li> <li>◇ <b>無効にします</b>：画面を投影したり、携帯電話や他のデバイスからスマートボードにファイルを送信することはできません。</li> </ul> </li> <li>● 表示、コントロール、ワイヤレス注釈。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ <b>許可されます</b>：スマホや他のデバイスからスマートボードの画面を見たり、操作したり、注釈をつけることができます。</li> <li>◇ <b>表示のみ</b>：携帯電話や他のデバイスからスマートボードの画面を表示できますが、スマートボードを操作したり、注釈を付けたりすることはできません。</li> <li>◇ <b>認証が必要です</b>：スマートボードの画面を見たり、操作したり、携帯電話や他のデバイスから注釈を入れたりするためには、システムの承認が必要です。</li> <li>◇ <b>無効にする</b>：携帯電話や他のデバイスからスマートボードの画面を見たり、操作したり、注釈を入れたりすることはできません。</li> </ul> </li> <li>● フローティングモデレーターボタン <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ <b>常に表示</b>：フローティングモデレーターボタンはどの画面にも表示されます。ボタンをタップすると、モデレーターコントロールセンターに移動できます。</li> <li>◇ <b>ホーム画面のみ</b>フローティングモデレーターボタンはホーム画面にのみ表示されます。</li> <li>◇ <b>無効にする</b>フローティングモデレーターボタンを隠す。</li> <li>◇ <b>自動</b>：スマートボードが電話や他のデバイスに接続されている場合、フローティングモデレーターが表示されます。接続されているデバイスの数を表示できます。</li> </ul> </li> </ul>

アイコン	説明
	<p>ディスプレイの設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>デバイス名</b>：デバイス名をカスタマイズできます。</li> <li>● <b>接続モード</b>：接続モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ デバイス名：EShareを開くと、アプリは自動的に同じネットワーク上の大型ディスプレイデバイスを表示します。スマートボードのデバイス名を選択し、スマートボードとEShareを接続します。</li> <li>◇ PINコード（4桁）：スマートボードとEShareを接続するには、4桁のPINコードを入力する必要があります。</li> <li>◇ PINコード（6文字）：スマートボードと EShare を接続するには、6 文字の PIN コードを入力する必要があります。</li> </ul> </li> <li>● <b>複数画面</b>：無効、2画面、4画面、6画面、または9画面を選択します。</li> <li>● <b>デバイス名を画面に表示する</b>：スマートボードに接続されているデバイス名を表示します。</li> <li>● <b>自動フルスクリーン</b>：接続されたデバイスの画面は、スマートボードと接続されたデバイスの画面アスペクト比が異なっても、スマートボードのフルスクリーンをカバーします。</li> <li>● <b>AirPlay Visible</b>：スマートボードと同じネットワーク上のiOSおよびmacOSデバイスが、EShareアプリをインストールせずに画面を共有できるようにします。</li> </ul>
取扱説明書	画面共有の基本ガイドを見る

### 3.4.2 ワイヤレスプレゼンテーションドングルによる画面共有

コンピュータとスマートボード間で画面を共有した後、コンピュータからスマートボードの画面にコンテンツを投影し、コンピュータ上でスマートボードを操作することができます。

#### 前提条件

- スマートボードとコンピュータが同じ LAN ネットワーク上にあり、スマートボードのホットスポットが有効になっている。詳細は、「3.10.1 ネットワーク接続の設定」を参照してください。
- 互換性のあるワイヤレスプレゼンテーションドングルを入手してください。スマートボードには付属していません。必要に応じて購入してください。

#### 手続き

ステップ1 ワイヤレスプレゼンテーションドングルをスマートボードとペアリングします。

- 1) スマートボードの Android ホーム画面で**画面共有**をタップします。

- 2) ワイヤレスプレゼンテーション Dongle をスマートボードのフロントパネルにある USB ポートに挿入します。

ワイヤレスプレゼンテーション Dongle はスマートボードとのペアリングを開始します。

- 3) システムがペアリングの成功を促すまで待ちます。
- 4) **OK** をタップします。

ステップ2 コンピュータからスマートボードにコンテンツを投影します。

- 1) ワイヤレスプレゼンテーション Dongle をコンピュータの USB ポートに接続します。



初めて使用する場合は、ワイヤレスプレゼンテーション Dongle のドライバをインストールする必要があるかもしれません。インストールには時間がかかる場合があります。インストールに失敗した場合は、ドライバを手動でダウンロードし、再度お試しください。

- 2) ワイヤレスプレゼンテーション Dongle のボタンを押して、コンピュータからスマートボードにコンテンツを投影します。

## 3.5 システム設定

ネットワーク設定、一般設定、詳細設定、その他のシステム設定を行います。

### 3.5.1 ネットワーク接続の設定

ホーム画面で、上にスワイプ > **設定を選択**し、ネットワーク設定を行います。



有線ネットワークを有効にすることができます。スマートボード自体もホットスポットとして機能し、他のデバイスとネットワーク接続を共有することができます。

図3-7 ネットワーク

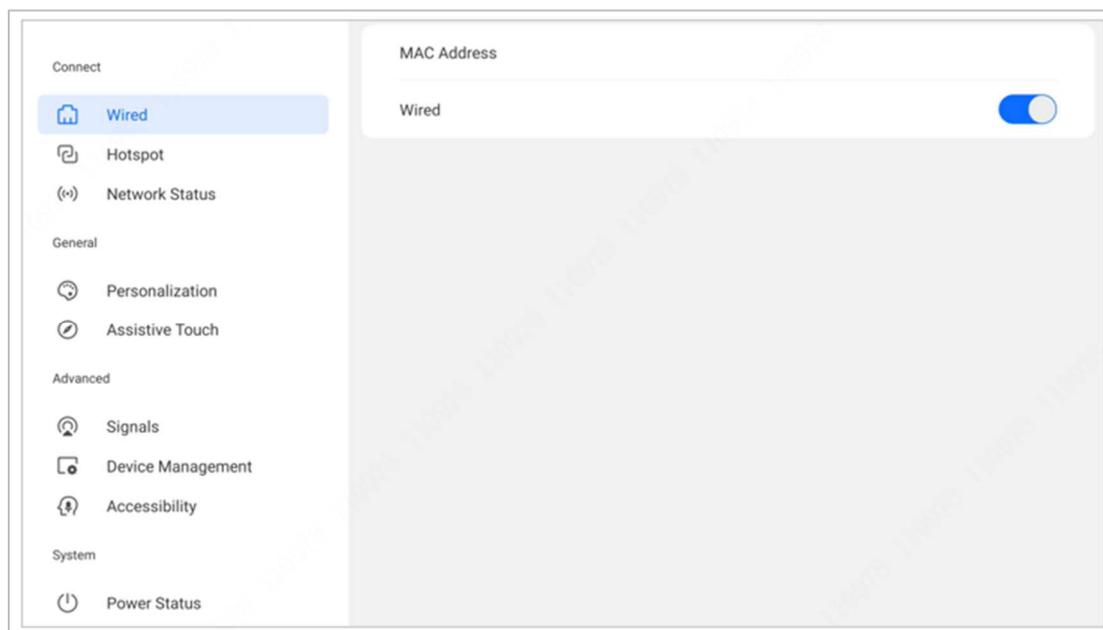


表 3-7 ネットワーク・パラメーター

パラメータ	説明
ワイヤード	<p>有線ネットワーク接続パラメータを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>DHCP</b> : ネットワーク上にDHCPサーバーがある場合、<b>有線を有効</b>にすると、スマートボードが自動的に動的IPアドレスを取得します。</li> <li>● <b>静的</b> : スマートボードのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSを手動で設定します。</li> </ul>

パラメータ	説明
ホットスポット	ホットスポットを有効にし、ネットワークのSSIDを設定し、パスワードを入力します。ホットスポット名、ホットスポットパスワード、暗号化方式、周波数帯域などの情報を表示できます。
ネットワーク状況	現在のネットワーク接続モード、IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、DNSなどの情報を表示します。

### 3.5.2 一般設定の構成

ホーム画面で、上にスワイプ > **設定を選択し**、一般設定を行います。

図 3-8 一般設定

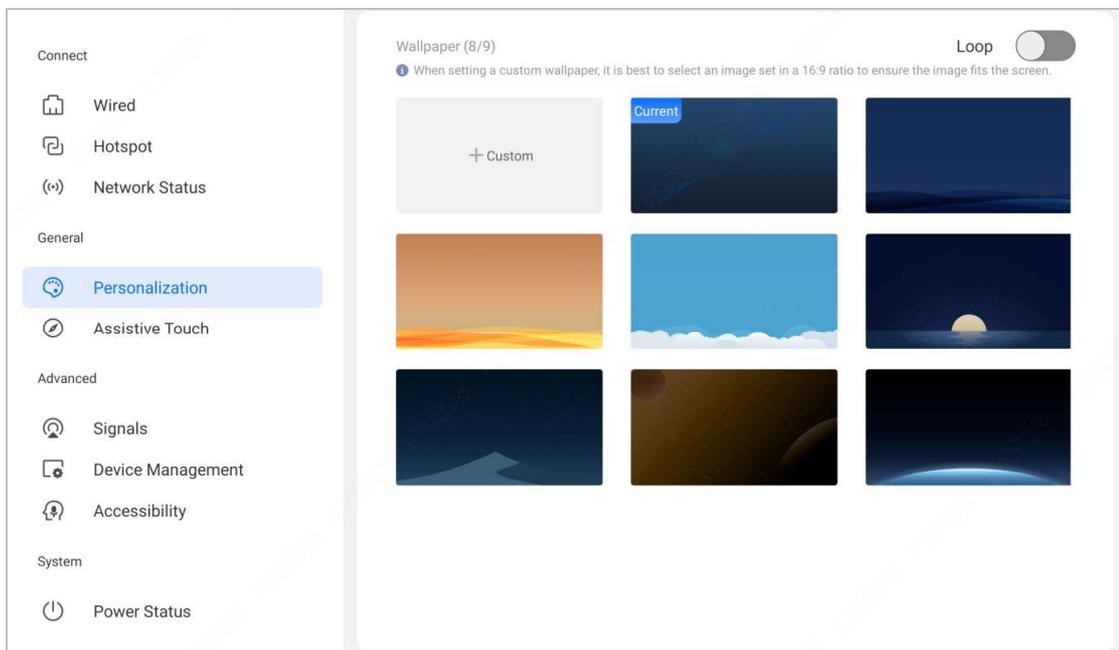


表 3-8 一般設定の説明

パラメータ	説明
パーソナライゼーション	<p>背景画像を設定し、ループを有効にして選択した背景画像を順番に再生し、起動画面をカスタマイズすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● デフォルトで8種類の壁紙が用意されている。</li> <li>● 壁紙のカスタマイズやアップロードも可能です。推奨画像比率は16:9です。</li> </ul>

パラメータ	説明
アシスト・タッチ	<p>補助タッチを有効にするかどうかを設定します。アシストタッチが自動的に非表示になるタイミングと、非表示になる方法（小さな円または消える）を選択またはカスタマイズします。</p> <p> アシスタブタッチを有効にしたら、2秒以内に3本指でダブルタップしてください。</p>

### 3.5.3 高度なパラメータの設定

ホーム画面で、上にスワイプ > **設定を選択**し、詳細パラメータを設定します。

図 3-9 高度なパラメーター

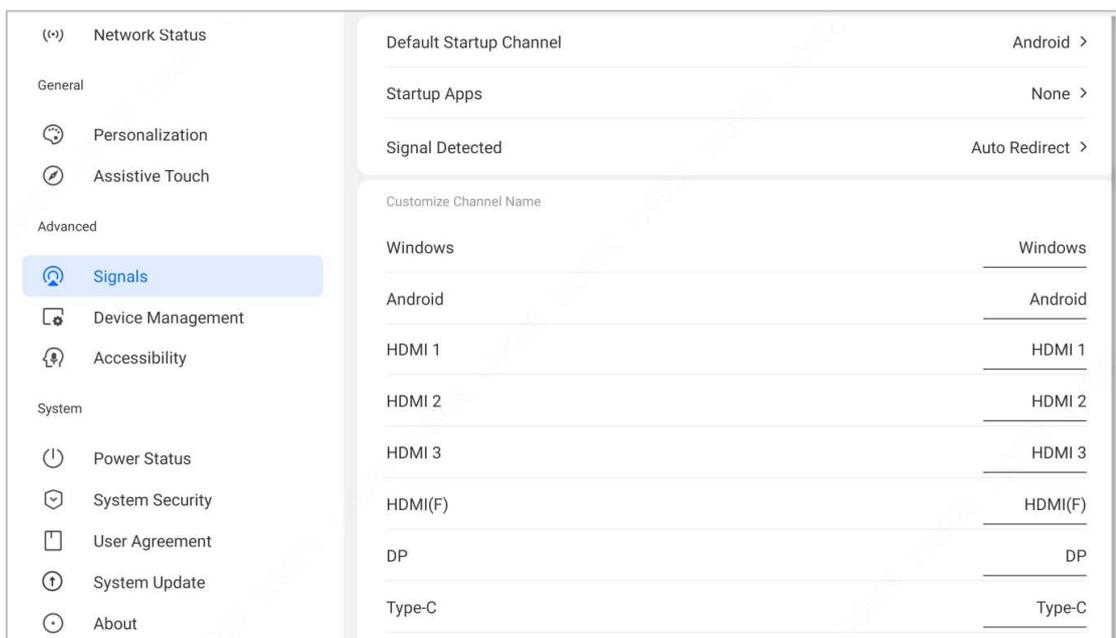


表3-9 高度なパラメータの説明

パラメータ	説明
信号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デフォルトのスタートアップ・チャンネル：起動時に有効にするチャンネルを選択します。</li> <li>● デフォルトアプリ：システム起動時に毎回開くスマートボード上のアプリケーションを選択します。</li> <li>● 信号が検出された： <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ <b>自動リダイレクト</b>：信号ソースに接続し、自動的に対応するチャンネルにリダイレクトします。</li> <li>◇ <b>ポップアップウィンドウ</b>：信号ソースが接続されると、接続されたソース・チャンネルにジャンプするかどうかを尋ねるポップアップ・ウィンドウが表示されます。</li> </ul> </li> <li>● <b>チャンネル名のカスタマイズ</b>チャンネル名をカスタマイズする。名前を変更すると、システム全体の対応するチャンネル名も同期して変更されます。</li> </ul>
デバイス管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>HDMI の出力</b>：機能はスマートボードが HDMI の出力ポートを通してモニターに接続された後利用できます。 <b>HDMI OUT</b> を有効にした後、スマートボードはデフォルトでモニターの最大解像度で信号を出力します。モニターの容量によって異なった決断を選ぶことができます。</li> <li>● <b>5本指で画面を閉じる</b>：5本指スイッチスクリーンがオンになっている場合、5本指で長押しすると、スクリーンがオフになってから1秒以上デバイスを起動できます。</li> <li>● <b>RS-232 制御</b>：<b>RS-232 制御</b>が可能になれば、装置間のデータ伝送のための RS-232 透明なデバッグのシリアル ポートに スマートボード を接続できます。</li> </ul>

パラメータ	説明
アクセシビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ <b>スピーカーの追跡</b>：ビデオ会議に適用されます。</li> <li>○ <b>音声トラッキング</b>：スマートボードは、発言している参加者を追跡し、発言者を画像の中央に配置し、デジタルズームで画像サイズを調整します。</li> <li>○ <b>オートファーマング</b>：カメラは自己適応型パノラマ撮影をサポートしています。参加者の人数と位置に応じて、すべての参加者を含むように画像を調整できます。参加者は画像の中央に配置され、パノラマ画像内の参加者のネームプレートのサイズは自動的に調整されます。</li> </ul>

### 3.5.4 システムパラメータの設定

ホーム画面で、**More > Settings** をタップし、システムパラメータを設定します。

図 3-10 システム・パラメーター

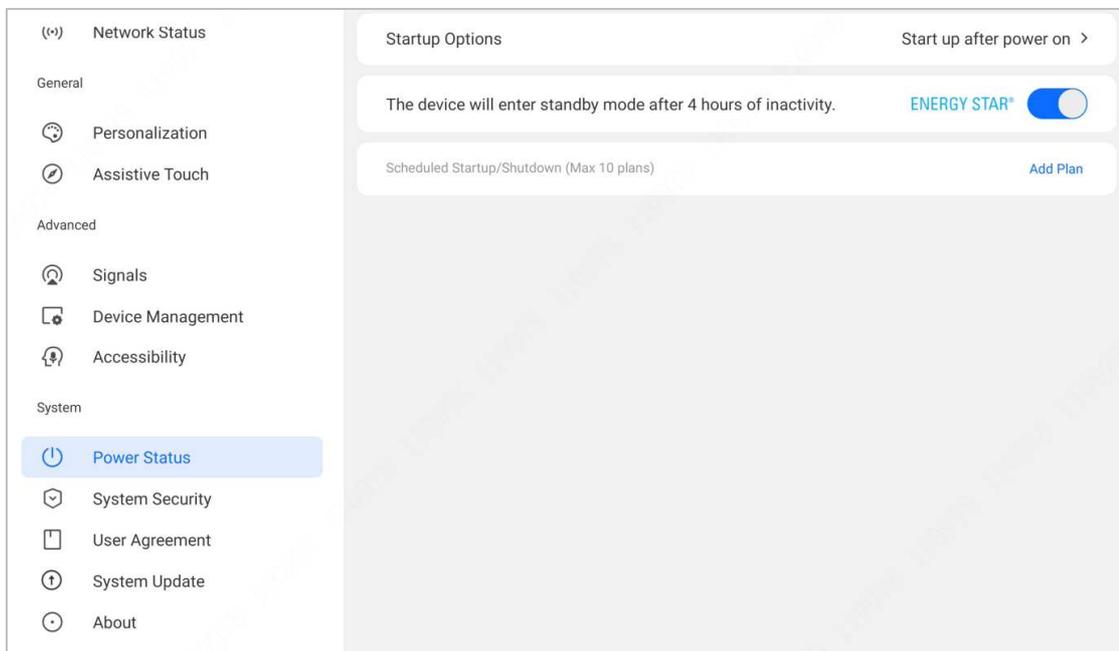


表 3-10 システムパラメータの説明

パラメータ	説明
電源状況	<p>スマートボードの起動およびシャットダウン機能を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>起動オプション</b>：電源投入後のスタンバイまたは電源投入後のスタートアップを選択（デフォルト）。</li> <li>● <b>ENERGY STAR</b>：本装置は、4時間使用しないとスタンバイモードになります。</li> </ul>
システム・セキュリティ	<p><b>USBパーミッション</b>：USBパーミッションを無効にすると、システムはUSBデバイスのアクセスを検出しません。</p>
利用規約	<p>プライバシーポリシー、ソフトウェア使用許諾契約書、オープンソース契約書をご覧ください。</p>
システム・アップデート	<p>現在のシステムバージョンを表示します。スマートボードがネットワークに接続されている場合は、<b>[更新を確認]</b> をタップして、利用可能な新しいバージョンがあるかどうかを確認します。</p>
について	<p>MACアドレス、デバイス・シリアル番号、デバイス名（編集可能）、システム・バージョン、Androidバージョン、セキュリティ・ベースライン・バージョンを表示。</p> <p></p> <p>デバイス名は最大31文字で構成され、文字、数字、特殊文字 (-@.)</p>

## 3.6 Androidのドロップダウンバー

クイック設定操作オプションの提供と関連情報の表示

図 3-11 Android ドロップダウンバー

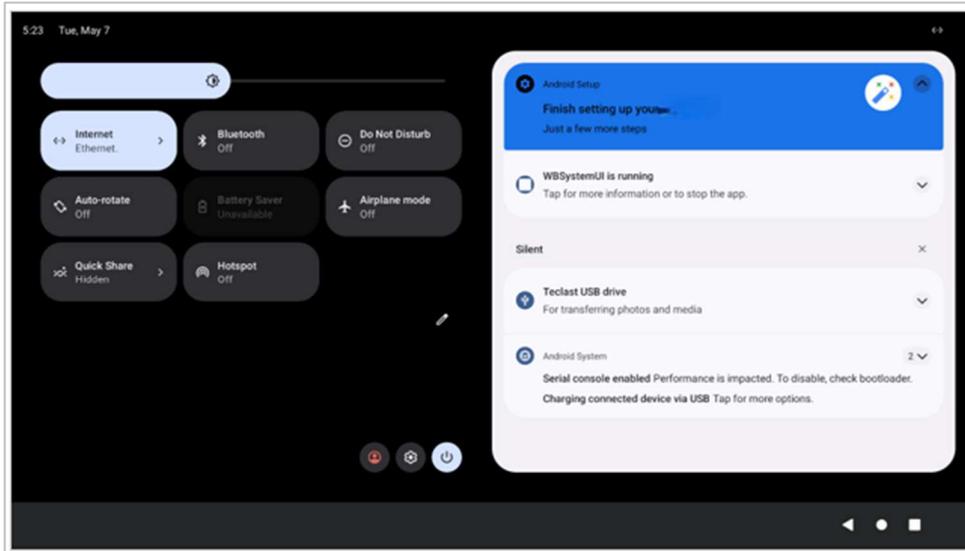


表 3-11 Android ドロップダウンバーオプションの説明

オプション	説明
インターネット	有線またはWi-Fiネットワーク接続を設定します。
ブルートゥース	Bluetooth接続のオン/オフを設定します。
邪魔しない	邪魔しないモードを設定する。
自動回転	サポートしない。
機内モード	機内モードを設定する。
クイックシェア	近くのシェアを設定する。
ホットスポット	<b>ホットスポット</b> を有効にし、ネットワークのSSIDを設定し、パスワードを入力します。ホットスポット名、ホットスポットパスワード、暗号化方式、周波数帯域などの情報を表示できます。

図3-12 Wi-Fiホットスポット

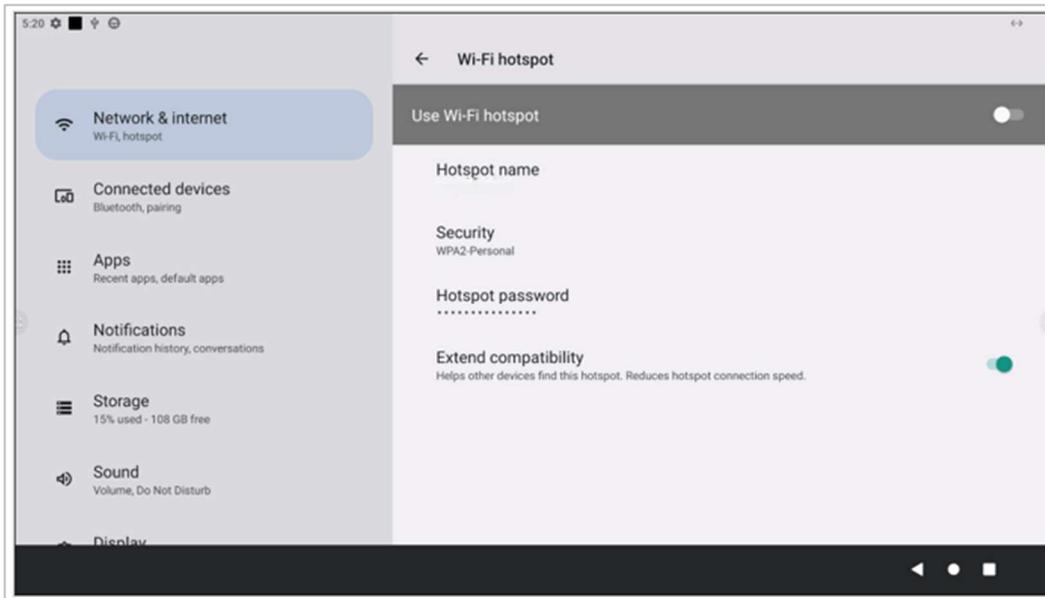
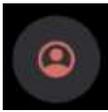
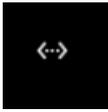


表 3-12 Android ドロップダウンバーのアイコンの説明

アイコン	説明
	ユーザー設定管理。
	<b>Androidの設定メニュー</b> ：ネットワーク、ホットスポット、ブルートゥース、一般設定、その他のシステム設定を行います。
	<b>電源オプション</b> ：電源オフまたはシステムの再起動を選択します。
	システム情報の表示・非表示

## 4 シャットダウン

スマートボードがオンになった後、電源ボタンを 5 秒間押し続けると、スマートボードをシャットダウンするかどうかをシステムが確認します。**OK** をタップしてスマートボードをシャットダウンします。

## 5 システム・アップデート

システムのアップデートは、オンラインまたはUSB経由で行うことができます。



低いバージョンにダウングレードすると、スマートボードがセキュリティ攻撃に対して脆弱になりますのでご注意ください。

### 5.1 オンライン・アップデート

本製品はUSB経由でのアップデートのみの対応となります。

### 5.2 USB経由でのアップデート

update.zipファイルをUSBフラッシュドライブにアップロードし、アップデートファイルを使用してシステムをアップデートすることができます。

#### 前提条件

USBディスク (Format FAT32)

#### 手続き

ステップ1 テクニカルサポートからアップデートパッケージを入手する。

アップグレードファイルをルートディレクトリの U ディスク (FAT32) に解凍します。

upgrade\_3588」フォルダができます。

ステップ2 AC電源をオフにし、スマートボードのUSB2.0ポートにUSBフラッシュドライブを差し込みます。



FAT 32フォーマットのUSBフラッシュドライブでシステムをアップデートしてください。そうしないとアップデートに失敗することがあります。

ステップ3 AC電源をオンにし、電源LEDが赤と青で に点滅するまで**POWER**キーを押し続けます。

ステップ 3アップグレードが成功すると、スマートボードが自動的に再起動します。

## 6 よくある質問

### 1. 表示灯が消灯している。

- 電源が正常かどうかを確認する。
- スマートボードのロッカースイッチがオンになっているか確認してください。

### 2. 色の欠落または異常。

スマートボードがコンピュータに接続されている場合は、HDMI ケーブルが無傷で正しく接続されているかどうかを確認します。

### 3. 画像がフルスクリーンで表示されない、または画像の一部が画面の外に出ている。

- 解像度が16:9かどうかを確認する。
- スマートボードが外部コンピュータに接続されている場合は、HDMI ケーブルを抜いてから再度接続してください。

### 4. スマートボードは画像を表示しますが、音は出ません。

- 音量を調整する。
- スマートボードがコンピュータに接続されている場合は、オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。

### 5. タッチの反応が悪く、反応する位置が正確でない。

- 紙や袖など、他のものが画面に接触していないか確認してください。
- 解像度が16:9かどうかを確認する。

### 6. タッチコントロールが動作しない。

スマートボード がコンピュータに接続されれば、スマートボード の接触ポートがコンピュータの USBポート に正しく接続されるかどうか点検して下さい。

# Appendix 1 タッチ操作

スタイラスペンを使用するか、直接指でデバイスの画面を操作することができます。



ここではスタイラスペンでの操作を例に説明します。

付録 表 1-1 タッチ操作

オペレーション	説明
タップ	スタイラスペンで画面を1回タップします。
ダブルタップ	スタイラスペンで画面を2回タップする（タップ間隔は約0.5秒）。
コンテキストメニュー	スタイラスペンで 1～2 秒間画面を軽くタッチします。画面上に円が表示されたらスタイラスペンを持ち上げ、コンテキストメニューを表示します。
ドラッグ	スタイラスペンでドラッグするアイコンを保持し、目的の場所にスタイラスペンを移動します。スタイラスペンを持ち上げてアイテムをドロップします。
スライド	スライドさせたい画面（ウェブブラウザのスライダーなど）をスタイラスペンで押さえ、スライドさせたい方向にスタイラスペンをスライドさせます。スタイラスペンを持ち上げて画面を離します。
ズーム	スタイラスペンでウィンドウ（ウェブページや画像など）を長押しし、別のスタイラスペンでウィンドウをドラッグして拡大・縮小します。

## Appendix 2 安全保障へのコミットメントと提言

サイバーセキュリティとプライバシー保護を非常に重視しており、従業員のセキュリティ意識と能力を総合的に向上させ、製品に十分なセキュリティを提供するために特別な資金を投資し続けている。専門のセキュリティチームを設立し、製品の設計、開発、テスト、生産、納品、メンテナンスの全ライフサイクルのセキュリティ権限を与え、管理しています。データ収集の最小化、サービスの最小化、バックドアの埋め込み禁止、不要で安全でないサービス（Telnet など）の削除という原則を守りながら、製品は革新的なセキュリティ技術を導入し続け、製品のセキュリティ保証能力の向上に努め、グローバルユーザーにセキュリティアラームと 24 時間 365 日のセキュリティインシデント対応サービスを提供し、ユーザーのセキュリティ権益をよりよく保護しています。同時に、ユーザー、パートナー、サプライヤー、政府機関、業界団体、独立研究者に対し、デバイスで発見された潜在的なリスクや脆弱性を PSIRT に報告することを奨励します。具体的な報告方法については、公式ウェブサイトを参照してください。

製品の安全性を確保するためには、メーカーの研究開発、生産、出荷における継続的な注意と努力だけでなく、製品の使用環境や使用方法を改善し、製品使用後の安全性をより確実にするためのユーザーの積極的な参加が必要です。このような理由から、私たちは、ユーザーが安全にデバイスを使用することを推奨します：

### 1. アカウント管理

#### 1.1 複雑なパスワードを使用する

パスワードを設定するには、以下の提案を参照してください：

- 長さは 8 文字以下であってはならない；
- 大文字、小文字、数字、記号の少なくとも 2 種類の文字を含める；
- 口座名や口座名を逆順にしないでください；
- 123、abc などの連続文字は使用しないでください；
- 111、aaa などの繰り返し文字は使用しないでください。

#### 1.2 定期的にパスワードを変更する

推測されたりクラックされたりするリスクを減らすため、デバイスのパスワードを定期的に変更することをお勧めします。

#### 1.3 アカウントと権限を適切に割り当てる

サービスと管理要件に基づいてユーザーを適切に追加し、ユーザーに最小限の権限セットを割り当てる。

#### 1.4 アカウントロックアウト機能を有効にする

アカウントロックアウト機能はデフォルトで有効になっています。アカウントのセキュリティを保護するために、有効にしておくことをお勧めします。パスワードの試行に複数回失敗すると、対応するアカウントと送信元 IP アドレスがロックされます。

#### 1.5 パスワードリセット情報を適時に設定し、更新する。

デバイスはパスワードリセット機能をサポートしています。この機能が脅威行為者に使用されるリスクを低減するため、情報に変更がある場合は適時修正してください。セキュリティの質問を設定する際には、推測されやすい答えを使用しないことをお勧めします。

### 2. サービス構成

## 2.1 HTTPS を有効にする

安全な経路でウェブサービスにアクセスするには、HTTPS を有効にすることを推奨する。

## 2.2 音声と映像の暗号化伝送

オーディオとビデオデータの内容が非常に重要または機密である場合は、伝送中にオーディオとビデオデータが盗聴されるリスクを減らすために、暗号化伝送機能を使用することをお勧めします。

## 2.3 必要でないサービスをオフにし、セーフモードを使用する

必要なければ、SSH、SNMP、SMTP、UPnP、AP ホットスポットなど、いくつかのサービスをオフにして、攻撃面を減らすことを推奨する。

必要であれば、以下のサービスを含むがこれに限定されない安全なモードを選択することを強く推奨する：

- SNMP：SNMPv3 を選択し、強力な暗号化と認証パスワードを設定する。
- SMTP：メールボックスサーバーにアクセスするために TLS を選択する。
- FTP：SFTP を選択し、複雑なパスワードを設定する。
- AP ホットスポット：WPA2-PSK 暗号化モードを選択し、複雑なパスワードを設定します。

## 2.4 HTTP およびその他のデフォルトサービスポートの変更

脅威行為者に推測されるリスクを減らすため、HTTP やその他のサービスのデフォルトポートを 1024 から 65535 の間の任意のポートに変更することをお勧めします。

## 3. ネットワーク構成

### 3.1 許可リストを有効にする

許可リスト機能をオンにし、許可リスト内の IP のみデバイスへのアクセスを許可することを推奨します。従って、必ずコンピュータの IP アドレスとサポートデバイスの IP アドレスを許可リストに追加してください。

### 3.2 MAC アドレスバインディング

ARP スプーフィングのリスクを減らすため、ゲートウェイの IP アドレスをデバイスの MAC アドレスにバインドすることをお勧めします。

### 3.3 安全なネットワーク環境の構築

機器のセキュリティをより確実にし、潜在的なサイバーリスクを軽減するために、以下のことを推奨する：

外部ネットワークからイントラネット機器への直接アクセスを避けるため、ルーターのポートマッピング機能を無効にします；

2 つのサブネット間に通信需要がない場合、VLAN、ゲートウェイ、その他の方法でネットワークを分割し、ネットワークの分離を実現することをお勧めします；

802.1x アクセス認証システムを確立し、端末によるプライベートネットワークへの不正アクセスのリスクを低減する。

## 4. セキュリティ監査

### 4.1 オンライン・ユーザーをチェックする

違法ユーザーを特定するため、オンラインユーザーを定期的にチェックすることを推奨する。

### 4.2 デバイスログの確認

ログを見ることで、デバイスへのログインを試みた IP アドレスや、ログに記録されたユーザーの主な操作を知ることができます。

### 4.3 ネットワークログの設定

デバイスのストレージ容量には限りがあるため、保存されるログには限りがあります。ログを長期間保存する必要がある場合は、ネットワークログ機能を有効にし、重要なログがトレース用にネットワークログサーバーに同期されるようにすることをお勧めします。

## **5.ソフトウェア・セキュリティ**

### **5.1 適時にファームウェアをアップデートする**

業界標準の動作仕様によると、デバイスのファームウェアは、デバイスが最新の機能とセキュリティを確保するために、時間内に最新バージョンに更新する必要があります。デバイスがパブリックネットワークに接続されている場合は、オンラインアップグレード自動検出機能を有効にし、メーカーが公開するファームウェア更新情報をタイムリーに取得することをお勧めします。

### **5.2 クライアントソフトウェアのアップデート**

最新のクライアントソフトウェアをダウンロードして使用することをお勧めします。

## **6.物理的保護**

デバイス（特にストレージデバイス）については、専用のマシンルームやキャビネットにデバイスを設置し、権限のない人がハードウェアやその他の周辺機器（USB フラッシュディスク、シリアルポートなど）に損傷を与えないよう、アクセス制御や鍵管理を行うなど、物理的な保護を実施することをお勧めします。